



平成 22 年 12 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 22 年 8 月 3 日

上場会社名 山崎製パン株式会社

上場取引所 東・大

コード番号 2212

URL <http://www.yamazakipan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯島 延浩

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 吉田 輝久

TEL (03) 3864-3110

四半期報告書提出予定日 平成 22 年 8 月 12 日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無

四半期決算説明会開催の有無 : 有・無 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成 22 年 12 月期第 2 四半期の連結業績 (平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第2四半期	471,899	5.8	16,945	34.3	17,432	33.8	7,733	33.2
21年12月期第2四半期	446,065	-	12,616	-	13,028	-	5,805	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第2四半期	35.20	-
21年12月期第2四半期	26.42	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第2四半期	596,040	241,516	37.3	1,013.29
21年12月期	609,781	235,314	35.6	988.82

(参考) 自己資本 22年12月期第2四半期 222,572百万円 21年12月期 217,276百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	-	-	-	14.00	14.00
22年12月期	-	-	-	-	-
22年12月期 (予想)	-	-	-	15.00	15.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 有・無

3. 平成 22 年 12 月期の連結業績予想 (平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	930,000	5.0	32,000	40.7	32,000	40.0	14,800	71.3	67.38

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有・無

4. その他（詳細は、【添付資料】4ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 有・無
 新規 一社（社名 ー ー）、除外 一社（社名 ー ー）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有・無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有・無
 ② ①以外の変更 : 有・無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数（四半期累計）

22年12月期2Q	220,282,860株	21年12月期	220,282,860株
22年12月期2Q	630,077株	21年12月期	550,787株
22年12月期2Q	219,700,210株	21年12月期2Q	219,794,503株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

なお、決算短信補足説明資料の5ページにセグメント別の売上高及び営業利益の予想を記載しております。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第2四半期連結累計期間】	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 販売実績	11
4. 「参考資料」 山崎製パン株式会社 平成22年12月期 第2四半期決算短信	12

※ 当社は、以下のとおり機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。

この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成22年8月6日（金）・・・機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成22年1月1日～平成22年6月30日)におけるわが国経済は、輸出の増加を起点に鉱工業生産の拡大や企業収益の改善等、景気を持ち直しの動きが続きましたが、厳しい雇用情勢や所得環境の改善の遅れもあり、個人消費は引き続き低調に推移し、回復の実感は乏しいものとなりました。

パン業界におきましては、主原料の小麦粉の価格が、昨年5月と11月に続き、本年5月にも小幅に引き下げられ、油脂類等の原材料価格も安定基調で推移しました。一方、デフレが進行する市場環境の下で、お客様の商品選択が低価格帯の製品にシフトし、パン類の低価格化が更に進むとともに、販売競争が激しさを増しました。また、コンビニエンスストア業界におきましては、お客様の節約志向の高まりを受けて客単価の減少が続く中、天候不順による来店客数の減少も加わり、既存店売上の減少が続く厳しい経営環境となりました。

このような情勢下にあります、当社グループは、製品の品質改善と新製品開発に積極的に取り組むとともに、「春のパンまつり」をはじめとするキャンペーンを活用した売場の拡大や品質訴求による主力製品の拡販をはかるなど、市場動向に即応した部門別製品施策、営業施策を推進し、売上の確保につとめてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は4,718億99百万円(対前年同期比105.8%)、営業利益は169億45百万円(対前年同期比134.3%)、経常利益は174億32百万円(対前年同期比133.8%)、四半期純利益は77億33百万円(対前年同期比133.2%)となりました。売上の伸び悩む厳しい状況ではありましたが、(株)不二家及びその連結子会社5社の決算期変更に伴い、(株)不二家の9ヶ月間(平成21年10月1日～平成22年6月30日)の連結売上高を組み入れたことにより売上増となりました。利益面では、内部管理の充実や(株)不二家グループの業績回復により、大幅な増益を達成することができました。

セグメント別の状況

<食品事業>

食品事業の主要製品別の売上状況は次のとおりであります。

①食パン部門(売上高490億98百万円、対前年同期比100.7%)

食パンは、新技術により品質面で優位性のある「ふんわり食パン」が、新製品の「ふんわり食パンメープル」を発売してバラエティ化をはかったこともあり、大幅に伸長しました。また、低単価製品の販売競争が激しく販売単価下落の進む中ではありましたが、製品ラインアップを充実させ、幅広い価格帯を隙間なくカバーすることで販売数量の増加をはかり、前年同期の売上を上回ることができました。

②菓子パン部門(売上高1,560億39百万円、対前年同期比101.1%)

菓子パンは、主力の「ランチパック」が新製品の寄与もあり堅調に推移するとともに、薄皮シリーズなどのミニパンが伸長しました。また、新技術により品質面で大きく改善されたペストリーや高級菓子パンが好調に推移したことに加え、コンビニエンスストアや量販店などへの業態別対応製品を強化したことにより、前年同期の売上を上回ることができました。

③和菓子部門(売上高316億89百万円、対前年同期比94.0%)

長らく好調で売上を伸ばしておりました和菓子は、蒸しパンや中華まんが全般的に不振傾向となり、売上は前年同期を下回りました。

④洋菓子部門(売上高632億77百万円、対前年同期比114.7%)

洋菓子は、量販店向けの2個入り生ケーキや「ロールちゃん」などのスイスロールが伸長するとともに、「イチゴスペシャル」などのスナックケーキが順調に推移し売上は好調でした。また、(株)不二家の決算期変更に伴い9ヶ月間の売上を組み入れたことにより売上は前年同期を大きく上回りました。

⑤調理パン・米飯類部門(売上高477億77百万円、対前年同期比101.3%)

調理パンは、キャンペーン効果もあり主力の和紙包装のハンバーガーや「大きなサンド」が伸長し売上は好調でしたが、米飯類は主要販路のコンビニエンスストアの不振により低調でした。

⑥製菓・米菓・その他商品類部門(売上高901億10百万円、対前年同期比117.5%)

製菓・米菓・その他商品類部門は、(株)不二家の「カントリーマアム」やヤマザキ・ナビスコ(株)の「チップスター」、(株)東ハトの「ハーベスト」などの主力製品が伸長し売上は好調でした。また、(株)不二家の決算期変更に伴い9ヶ月間の売上を組み入れたことにより売上は前年同期を大きく上回りました。

以上の結果、食品事業の売上高は4,379億93百万円(対前年同期比105.3%)、営業利益は163億31百万円(対前年同期比130.5%)となりました。

＜流通事業＞

(株)デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、お客様の節約志向による買い控えや天候不順の影響を受け店舗売上は低調となりましたが、協賛金収入などの増加もあり営業総収入は301億19百万円(対前年同期比102.8%)となりました。収益面では、システム関連費用の増加や出店に伴うコストの増加もあり、営業損失は5億20百万円(前年同期は2億87百万円の営業損失)となりました。

＜その他事業＞

その他事業につきましては、当第1四半期より物流事業の子会社等を新規連結したことにより、売上高は37億86百万円(対前年同期比384.5%)、営業利益は7億25百万円(対前年同期比317.0%)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は5,960億40百万円で、前連結会計年度末に対し137億40百万円減少しました。流動資産は1,651億50百万円で、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末に対し75億12百万円減少しました。固定資産は4,308億89百万円で、投資有価証券の時価評価額が株式市場の低迷により減少した事等もあり、前連結会計年度末に対し62億28百万円減少しました。負債合計は3,545億23百万円で、前連結会計年度末に対し借入金等の減少もあり、199億42百万円減少しました。純資産は2,415億16百万円で、利益剰余金が70億83百万円増加した事等により、前連結会計年度末に対し62億1百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は37.3%、1株当たり純資産は1,013円29銭となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益149億99百万円に加え、減価償却費195億70百万円、売上債権の減少額169億86百万円などにより446億33百万円のプラスとなり、前年同期に対しては208億32百万円収入が増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得などにより168億69百万円のマイナスとなり、前年同期に対しては投資額の減少により71億99百万円支出が減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済、配当金の支払などにより228億9百万円のマイナスとなり、前年同期に対しては新規借入の減少、借入金返済額の増加などにより207億59百万円支出が増加しました。

これらに、新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額22億4百万円を加えて、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は601億16百万円となり、前連結会計年度末に対して71億98百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しといたしましては、欧州諸国の財政不安や米国・中国の景気減速など世界経済の先行き不透明感が強まる中、わが国経済も株安、円高の影響等が懸念されるなど、景気の本格回復には時間を要するものと思われまます。

当業界におきましては、長期化する消費不況の下で、お客様の根強い低価格志向が続き、販売競争が一段と激化することが予想されます。

このような状況下でありまして、当社グループは、新技術を活用した主力製品の品質向上に積極的に取り組み、品質訴求によって取扱拡大をはかるとともに、値頃感のある製品や付加価値の高い新製品の開発を強化するなど、地域別、業態別にきめ細かな施策を実施し、売上の確保につとめてまいります。併せて、小委員会による「なぜなぜ改善」と5S活動に積極的に取り組み、内部管理体制の充実と業務の効率化をはかり、業績の向上を目指して努力してまいります。

通期の連結業績予想につきましては、(株)不二家及びその連結子会社5社の決算期変更に伴い、当期の連結決算に(株)不二家の15ヶ月間(平成21年10月1日から平成22年12月31日まで)の連結業績を組み入れるため、通期の連結業績予想を修正いたします。併せて、当期より新規連結する子会社4社の業績も加味し、平成22年2月12日発表の平成22年12月期通期の連結業績予想を次のとおり修正いたします。

なお、当社の個別業績予想は変更ありません。

平成22年12月期通期の連結業績予想の修正(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	903,000	29,000	29,000	13,300	60.53
今回修正予想 (B)	930,000	32,000	32,000	14,800	67.38
増減額 (B-A)	27,000	3,000	3,000	1,500	—
増減率 (%)	3.0	10.3	10.3	11.3	—
(ご参考)前期実績 (平成21年12月期)	885,683	22,738	22,852	8,640	39.32

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定的方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 会計基準等の改正に伴う変更

該当事項はありません。

② ①以外の変更

(a) 当第2四半期連結会計期間において、(株)不二家及びその連結子会社5社については3月31日から12月31日に決算日を変更しており、当第2四半期連結累計期間は、平成21年10月1日から平成22年6月30日までの9ヶ月間の連結業績を組み入れております。

(b) 当第2四半期連結会計期間から事業年度が平成22年4月1日より開始の一部の連結子会社において、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益は3百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は157百万円減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	63,443	54,807
受取手形及び売掛金	69,004	84,702
商品及び製品	9,919	9,210
仕掛品	785	752
原材料及び貯蔵品	6,736	7,831
繰延税金資産	3,845	3,657
その他	12,447	12,670
貸倒引当金	△1,031	△969
流動資産合計	165,150	172,663
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	316,052	311,609
減価償却累計額	△225,935	△221,230
建物及び構築物(純額)	90,117	90,378
機械装置及び運搬具	406,425	400,657
減価償却累計額	△331,495	△322,875
機械装置及び運搬具(純額)	74,929	77,782
工具、器具及び備品	27,931	28,051
減価償却累計額	△24,112	△24,027
工具、器具及び備品(純額)	3,819	4,023
土地	111,950	108,839
リース資産	18,105	15,190
減価償却累計額	△2,990	△1,324
リース資産(純額)	15,114	13,866
建設仮勘定	744	1,134
有形固定資産合計	296,676	296,025
無形固定資産		
のれん	19,678	20,278
その他	12,743	12,571
無形固定資産合計	32,421	32,850
投資その他の資産		
投資有価証券	39,362	43,722
長期貸付金	1,576	1,679
繰延税金資産	24,323	22,479
その他	40,049	43,957
貸倒引当金	△3,519	△3,596
投資その他の資産合計	101,792	108,242
固定資産合計	430,889	437,118
資産合計	596,040	609,781

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	64,684	68,710
短期借入金	63,271	69,149
リース債務	3,382	2,811
1年内償還予定の社債	1,234	1,284
未払法人税等	7,599	3,961
未払費用	29,305	32,904
賞与引当金	3,734	3,802
販売促進引当金	1,171	896
店舗閉鎖損失引当金	57	136
その他	27,681	30,275
流動負債合計	202,121	213,932
固定負債		
社債	6,784	7,506
長期借入金	41,002	51,092
リース債務	12,164	11,332
退職給付引当金	77,930	75,969
役員退職慰労引当金	2,931	2,833
債務保証損失引当金	1,338	1,364
その他	10,249	10,435
固定負債合計	152,402	160,533
負債合計	354,523	374,466
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,014	11,014
資本剰余金	9,675	9,675
利益剰余金	195,735	188,651
自己株式	△627	△534
株主資本合計	215,798	208,807
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,091	9,063
繰延ヘッジ損益	△4	△2
為替換算調整勘定	△313	△592
評価・換算差額等合計	6,773	8,469
少数株主持分	18,944	18,038
純資産合計	241,516	235,314
負債純資産合計	596,040	609,781

(2) 四半期連結損益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
売上高	446,065	471,899
売上原価	281,424	292,547
売上総利益	164,641	179,351
販売費及び一般管理費	152,024	162,405
営業利益	12,616	16,945
営業外収益		
受取利息	72	48
受取配当金	367	473
固定資産賃貸料	364	280
為替差益	228	—
持分法による投資利益	339	645
雑収入	610	703
営業外収益合計	1,982	2,151
営業外費用		
支払利息	1,254	1,205
為替差損	—	161
雑損失	317	297
営業外費用合計	1,571	1,665
経常利益	13,028	17,432
特別利益		
固定資産売却益	14	2
店舗閉鎖損失引当金戻入額	—	41
債務保証損失引当金戻入額	7	24
その他	—	0
特別利益合計	22	68
特別損失		
固定資産除売却損	1,021	633
店舗閉鎖損失	364	208
店舗閉鎖損失引当金繰入額	200	—
投資有価証券評価損	162	515
退職給付引当金繰入額	—	920
役員退職慰労引当金繰入額	—	45
その他	17	175
特別損失合計	1,765	2,500
税金等調整前四半期純利益	11,285	14,999
法人税、住民税及び事業税	2,221	6,872
法人税等調整額	4,004	△549
法人税等合計	6,226	6,322
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△746	943
四半期純利益	5,805	7,733

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,285	14,999
減価償却費	16,484	19,570
のれん償却額	601	601
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△642	△16
賞与引当金の増減額(△は減少)	△283	△121
退職給付引当金の増減額(△は減少)	865	1,856
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	△7,751	△25
受取利息及び受取配当金	△440	△521
支払利息	1,254	1,205
持分法による投資損益(△は益)	△339	△327
固定資産除売却損益(△は益)	1,006	631
投資有価証券評価損益(△は益)	162	515
売上債権の増減額(△は増加)	15,943	16,986
たな卸資産の増減額(△は増加)	871	497
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,302	△3,944
未払消費税等の増減額(△は減少)	△835	50
その他	557	△2,331
小計	30,436	49,624
利息及び配当金の受取額	442	522
利息の支払額	△1,293	△1,343
法人税等の支払額	△5,784	△4,169
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,801	44,633
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	—	△1,337
有形固定資産の取得による支出	△18,212	△15,187
有形固定資産の売却による収入	107	57
無形固定資産の取得による支出	△5,286	△1,304
投資有価証券の取得による支出	△625	△61
貸付けによる支出	△31	△13
貸付金の回収による収入	102	135
その他	△123	840
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,069	△16,869

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,654	△476
長期借入れによる収入	8,000	1,080
長期借入金の返済による支出	△10,023	△17,720
社債の償還による支出	△490	△772
リース債務の返済による支出	△466	△1,704
自己株式の取得による支出	△26	△93
自己株式の売却による収入	1	1
配当金の支払額	△2,635	△3,059
少数株主への配当金の支払額	△64	△64
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,049	△22,809
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10	39
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,328	4,994
現金及び現金同等物の期首残高	68,539	52,917
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	2,204
現金及び現金同等物の四半期末残高	66,211	60,116

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日) (単位: 百万円)

科 目	セグメント				計	消 去	連 結
	食 品	流 通	そ の 他	又 は 全 社			
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	415,779	29,302	984	446,065	—	446,065	
(2) セグメント間の内部売上高	3,076	1,026	2,643	6,746	(6,746)	—	
計	418,855	30,328	3,628	452,812	(6,746)	446,065	
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失(△)	12,511	△287	228	12,452	164	12,616	

(注) 事業区分の方法

1. 事業区分の方法は、製品の種類、販売市場等の類似性を考慮して区分しております。

2. 各事業区分の主要製品

食 品：食パン、菓子パン、和菓子、洋菓子、調理パン・米飯類、製菓・米菓・その他商品類

流 通：コンビニエンスストア事業

そ の 他：食品製造設備の設計、監理および工事の請負、損害保険代理業、事務受託業務及びアウトソーシング受託

3. 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間から「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、原価法(貸借対照表額については、収益性の低下による簿価切下げの方法)により算定しております。また、この適用に伴い、従来、営業外費用に計上していた原材料等廃棄損については、売上原価に計上しております。

なお、この変更に伴い、当第2四半期連結累計期間の食品事業について営業利益が324百万円減少しております。

4. 追加情報

(有形固定資産の耐用年数の変更)

第1四半期連結会計期間から法人税法の改正(所得税法等の一部を改正する法律 平成20年4月30日法律第23号)を契機に耐用年数の見直しを行い、第1四半期連結会計期間より機械装置等一部の資産について改正後の税法耐用年数を適用しております。

なお、この変更に伴い、当第2四半期連結累計期間の食品事業について営業利益が683百万円増加しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年6月30日) (単位:百万円)

セグメント 科 目	セグメント				消 去	連 結
	食 品	流 通	そ の 他	計	又は全社	
売 上 高						
(1)外部顧客に対する売上高	437,993	30,119	3,786	471,899	—	471,899
(2)セグメント間の内部売上高	2,707	2,249	11,682	16,639	(16,639)	—
計	440,701	32,368	15,468	488,538	(16,639)	471,899
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失(△)	16,331	△520	725	16,537	408	16,945

(注) 事業区分の方法

1. 事業区分の方法は、製品の種類、販売市場等の類似性を考慮して区分しております。

2. 各事業区分の主要製品

食 品：食パン、菓子パン、和菓子、洋菓子、調理パン・米飯類、製菓・米菓・その他商品類

流 通：コンビニエンスストア事業

そ の 他：食品製造設備の設計、監理および工事の請負、損害保険代理業、事務受託業務及びアウトソーシング受託、物流事業、食品製造機械器具の洗浄剤の製造及び販売

(6)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7)販売実績

(単位:百万円)

事業の種類別 セグメントの 名称	区 分	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	前年同期比
		(自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	(自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	
食品事業	食 ぱ ん	48,774	49,098	100.7%
	菓 子 ぱ ん	154,277	156,039	101.1
	和 菓 子	33,703	31,689	94.0
	洋 菓 子	55,161	63,277	114.7
	調 理 ぱ ん ・ 米 飯 類	47,156	47,777	101.3
	製 菓 ・ 米 菓 ・ そ の 他 商 品 類	76,705	90,110	117.5
	食 品 事 業 計	415,779	437,993	105.3
流 通 事 業		29,302	30,119	102.8
そ の 他 事 業		984	3,786	384.5
合 計		446,065	471,899	105.8

4. 「参考資料」

山崎製パン株式会社 平成22年12月期 第2四半期決算短信

1. 平成22年12月期第2四半期の個別業績 (平成22年1月1日～平成22年6月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第2四半期	308,074	0.2	11,281	8.5	12,539	8.8	6,828	25.2
21年12月期第2四半期	307,326	—	10,393	—	11,522	—	5,454	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産	
	百万円		百万円	
22年12月期第2四半期	429,728		219,003	
21年12月期	446,240		217,315	

(注) 個別業績数値は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

2. 平成22年12月期の個別業績予想 (平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	623,000	1.2	19,600	4.9	21,000	3.9	10,300	14.2	46.89

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年12月期第2四半期 個別販売実績

(単位 百万円)

品 種 別	期 別		前第2四半期		当第2四半期		比 較 増 減	
			(自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)		(自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)			
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	前年同期比		
食 パ ン	48,400	15.8%	48,767	15.8%	366	100.8%		
菓 子 パ ン	143,994	46.9	146,052	47.4	2,057	101.4		
和 菓 子	33,451	10.9	31,636	10.3	△ 1,815	94.6		
洋 菓 子	38,818	12.6	39,772	12.9	954	102.5		
調理パン・米飯類	20,731	6.7	19,811	6.4	△ 920	95.6		
製菓・米菓・その他商品類	21,929	7.1	22,034	7.2	105	100.5		
合 計	307,326	100.0	308,074	100.0	747	100.2		